

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 101-8425
 住 所 東京都千代田区神田神保町3丁目8番1号
 氏 名 学校法人専修大学
 理事長 日高 義博

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人専修大学		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 多摩区東三田2丁目1番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	0	教育, 学習支援業
	中分類	81	学校教育
主たる事業 の内容	大学		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,402	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 https://www.senshu-u.ac.jp/about/efforts/environment/

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

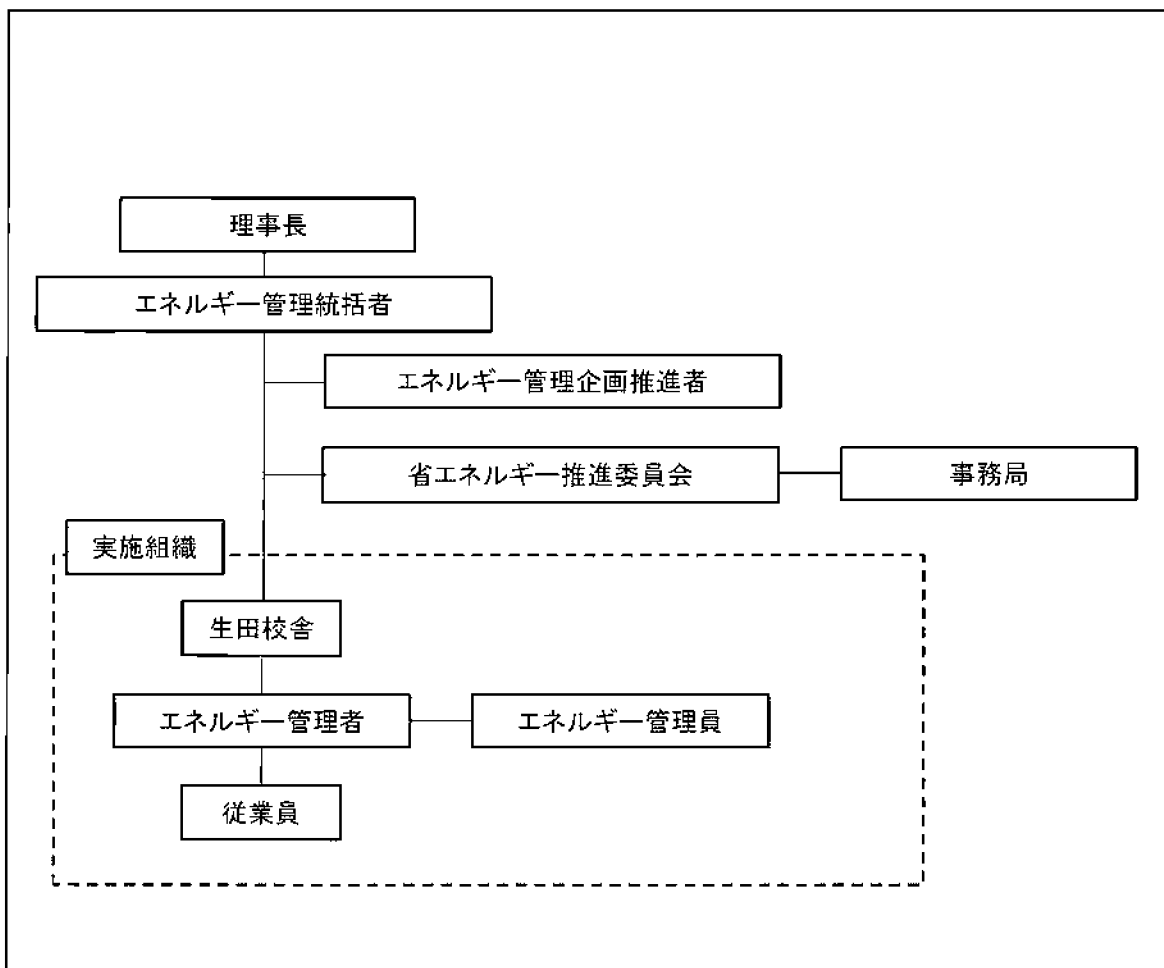
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- (1) 学内の学習環境を維持改善し、地球温暖化対策に関する取組みを組織的に行い継続的に対策を推進する。
- (2) 年度ごとに目標を定め、温室効果ガスの排出削減に取り組む。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- (1) 排出量削減計画に基づき、温室効果ガス削減の目標設定を行い年度計画を策定する。
- (2) 年2回実施する省エネルギー推進委員会で、エネルギー使用量の共有および予算化する必要のある省エネ工事を確認する。
- (3) 省エネルギー推進委員会事務局で、PDCAサイクルの評価および検証を実施する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	8,297	(実)		
		(調)	8,108 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	8,048	(実)		
		(調)	8,033 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	249 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	249 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		延床面積			
原単位の単位		t-CO ₂ /千m ²			
基準年度の値		57.93			
目標年度の値		56.19			
削減率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

<p>2019年度～2021年度の3年間においては、市内の排出される二酸化炭素排出量を3%削減するとともに、排出量原単位を毎年1%削減するという目標を設定し対策に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保有設備の運転効率の見直し エネルギー消費の多い設備の運転状況を把握し、最適運転を行うことにより、エネルギー使用量の削減を図る。 ・設備機器更新 既設設備を計画的に高効率空調機およびLED照明器具に更新する。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	(1) 省エネルギー推進活動を実施する。 (2) 管理標準の見直しを実施する。 (3) 既設の蛍光灯照明器具をLED照明器具に更新する。 (4) 既設の空調設備を高効率空調機に更新する。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(1) BEMSを使用して各建物のエネルギー管理をした。 (2) 生田総合体育館共用部高天井の照明器具を全てLED照明器具に更新した。 (3) 生田8号館1・2階の空調機を高効率空調機に更新した。
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	大学キャンパスの環境を考慮し、将来構想を踏まえ利用を検討する。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(1) 紙使用の抑制、裏紙利用による廃棄物を低減する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	8,297	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

	4,402	KL
--	-------	----

ウ 事業所の数

	4
--	---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
生田校舎	川崎市多摩区東三田2-1-1	7,986 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂